

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公表番号】特表2008-531580(P2008-531580A)

【公表日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-032

【出願番号】特願2007-557149(P2007-557149)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 K 31/437 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

A 6 1 P 37/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 31/437

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 19/10

A 6 1 P 37/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 D 471/04 1 0 5 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月17日(2009.2.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

標的化部分に結合されたIRM部分を含む免疫調節組成物であって、該IRM部分は、少なくとも1つのTLRのアゴニストである免疫調節組成物。

【請求項2】

前記IRM部分および標的化部分が接続されたスパーサームまたは固形支持体をさらに含む、請求項1に記載の免疫調節組成物。

【請求項3】

前記標的化部分が、腫瘍特異的マーカーのリガンドを含む、請求項1に記載の免疫調節組成物。

【請求項4】

前記標的化部分が、黄体形成ホルモン放出ホルモン(LHRH)受容体リガンドを含む、請求項3に記載の免疫調節組成物。

【請求項5】

前記標的化部分が、葉酸受容体リガンドを含む、請求項3に記載の免疫調節組成物。

【請求項6】

前記標的化部分が、ビスホスホネートを含む、請求項 1 に記載の免疫調節組成物。

【請求項 7】

第 2 の標的化部分をさらに含む、請求項 1 に記載の免疫調節組成物。

【請求項 8】

1 つの標的特異的部分が免疫細胞に特異的な抗原またはマーカーの少なくとも一部分を認識し、および前記第 2 の標的化部分が腫瘍細胞に特異的な抗原またはマーカーを認識する、請求項 7 に記載の免疫調節組成物。